

寒さがやわらぎ、春の気配を感じられるようになりました。先月、園内ではインフルエンザB型が流行しました。もうすぐ、4月。あっという間に1年も終わりに近付いています。残りの日々も元気に楽しく過ごしましょう。



耳の日



「3」は耳の形に似ていることなどから3月3日は耳の日と言われていきます。子どもは耳の病気にかかりやすいので、日頃からお子さまの様子をよく観察しましょう。

大切な耳を守るために
気を付けたいこと！

- 鼻をすすらず、かむ習慣を付ける
- 鼻水は、ゆっくりと片方ずつかむ
- 耳の近くで大きな声や音を出さない
- 耳をたたかない
- 耳掃除は綿棒で外耳道を拭き取る



子どもも花粉症に

花粉症の子どもが増えています。花粉症の場合、外出から戻ってきたら、衣服についた花粉を払い落とし、手や顔を洗うことでずいぶん違います。



抗アレルギー剤を症状の出る季節の前から服用すると、花粉の季節になっても軽く済みます。症状がひどい場合は、医師に相談してみてください。

解熱剤、正しく使って

どんなときに使う？

熱で寝つけない、飲んだり食べたりできないときに飲ませましょう。

ただ単に熱があるからと飲ませるのではなく、「睡眠をとって体力を回復させるため」「水分をとって脱水を防ぐため」など、必要なときに使しましょう。



熱が下がれば大丈夫？

効果が切れたらまた熱が上がります。解熱の判断は24時間以上熱が出ないときです。

解熱剤の効果で熱が下がるのは5～6時間ほどで、効果が切れたらまた熱が上がることがほとんどです。引き続き様子を見て、静かに過ごさせましょう。解熱剤で熱を下げて無理をさせると、かえって病気が長引くおそれがあります。



今月の身体計測

2日（月）黄色ちゅうりっぷ組

3日（火）つぼみ組・赤ちゅうりっぷ組

4日（水）すみれ組・ゆり組

5日（木）たんぼぼ組

9日（月）さくら組

内科健診

16日（月）

